



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。
QRコードを読み取り、令和2年9月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

議員所属の会派名は、9月定例会時点のものを掲載しています。



うえまつ けんいち
植松 健一 議員
(芙蓉)

市内産科の現状について

問 令和3年3月以降、市内分娩施設が市立病院1箇所となることによってどのような影響が考えられるか。

部長 分娩取扱いを終了する民間医院は事前に市立病院と十分な協議を行っており、令和3年度以降、取り扱っていた患者さんを全て市立病院で受け入れたとしても体制に支障はないことを確認している。

問 市立病院での分娩について受入れ体制を補強する計画はあるか。

部長 市内唯一の民間分娩施設が取扱いを終了し、市内で行われている分娩約600件を市立病院で対応することになるが、過去の実績から現体制で対応可能であると考えている。

問 今後市立病院は、無痛分娩などの分娩方法導

入についての検討はあるか。

部長 当院の産婦人科が無痛分娩を行わない理由は産科麻酔科医の確保、もしくは24時間対応できる麻酔科医の確保など新たな体制整備が必要となるため、現時点でこれらに対応することは難しいため無痛分娩は実施せず、現行どおりの分娩方法で対応していく。

熱中症対策について

問 生活困窮者、母子家庭、高齢者世帯にエアコン設置等に関して補助を考えたかどうか。

部長 生活保護者のエアコンの購入は、現在の制度では、例えば熱中症の危険性があると認められる高齢者、障がいを持った方、小さなお子さんがいらっしゃる家庭などについては、保護費の中からエアコンの設置を認めるという状況になっている。また、それ以外の生活保護になる一步手前の方たちについては、エアコンの普及率や購入率などの状況は把握していないが、いろいろな機会を捉えて、そのような状況が把握できれば確認していきたい。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介 議員
(令和)

県内一の人工透析実施率について

問 平成28年度調査では、富士宮市は人工透析率が県内一多かったが、その状況に変わりはないか。

部長 令和2年4月の状況でも、変わらず、富士宮市は静岡県内で一番多い率である。糖尿病・高血圧・肥満の方の割合が多い。

市長 富士宮には酒蔵が4蔵あり、漬物もうまい。酒の席が好きな方も多い。広報ふじのみや等で健康について呼び掛けていきたい。

意見 健康問題は、単発的な政策を行ってもすぐに効果が出るものではない。粘り強い努力を各部署にお願いする。

一般廃棄物処理基本計画（ゴミ処理・生活排水処理）について

問 ごみ減量化が、計画通りに進まないが、県内

23市のうち10市がごみ袋料金に上乗せという形で、有料化を行っているが、今後の方向性はいかがか。

部長 これから行う市民アンケート（2500人無作為抽出）を参考に、区長会等の意見や近隣市の動向を確認しながら検討していきたい。

問 「星山エネルギー拠点化プロジェクト」等の地域循環共生圏で提案されている事業の扱いはどうなるのか。

部長 現在のところ、実証段階以前の提案レベルのものであると考えている。

判子手続の廃止について

問 富士宮市で押印を要する手続は何種類あって、廃止できるものはいくつあるのか。また、廃止はいつからはじめるのか。

部長 平成5年に見直しした結果、149種類は押印廃止し、現在512種類残っている。法定受託事務の関係もあり、市単独では判断が難しいものもある。今後は国のガイドラインを参考に適時廃止を進めたい。